

日本橋川清掃活動（第33回） レポート

第33回、今年最後の日本橋川清掃活動を実施しました。河川の状況は、前日のまとまった降雨の影響により、水は濁り、上流でやや臭いを感じました。下水の放流はあまり多くなかったようです。

ゴミは相変わらず人為的に投げ捨てられたものが殆どでした。今回は、「脚立」と「自転車の車輪」などの投棄された粗大ゴミを回収しました。

生物は、カモやハトの姿を見ることが出来ました。

日時 2014年11月21日(金) 10:00~12:00

【主催】

- ・名橋「日本橋」保存会
- ・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- ・常盤橋フォーラム

【参加者】

- ・鹿島建設
- ・清水建設
- ・中央区 商工観光課
- ・日の丸自動車
- ・マンダリンオリエンタルホテル東京
- ・三井不動産
- ・三井共同建設コンサルタント
- ・三越伊勢丹
- ・三菱地所
- ・みらい建設工業
- ・渡東
- ・OSYC/慶応大学

約25名の皆様
にご参加いただきました。

【協力】

- ・舟宿「三浦屋」（作業船提供）
- ・東京都建設局第一建設事務所
(河川清掃船によるゴミの回収作業)

【2015年の予定】

- 3月 6日(金)
- 4月 17日(金)
- 5月 29日(金)
- 7月 17日(金)
- 9月 11日(金)
- 11月 27日(金)

次回もご参加、よろしく
お願いいたします。



【水質調査】 ※水質調査結果は簡易試験（パックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 13.8、降水量 0mm
直近の降雨	11月20日 14時から 20日 22時にかけて合計 17.5mm
潮位・流向	198cm 229cm、上げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	三崎橋	日本橋	豊海橋
透明度	cm	200以上	50	90	170
COD	mg/L	5未満	8	7	6
臭気	-	1以下	3	1	1
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.05	0.03	0.02
硝酸態窒素	mg/L	2未満	8	4	5
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.07	0.2	0.2
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	0.5	0.4	0.4



CODの目安

mg/L	0	0~4	5~9	10~19	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがはまっている	汚れが進んでいる

臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	楽に感知できる	強い臭い	強烈な臭い

- ・水質は、日本橋、豊海橋での「リン酸態リン」の値のみが目標以上でした。
- ・透明度は、三ヶ所とも目標を下回っていた。また、臭気は、三崎橋で「楽に感知できる」判定となった。各項目で目標値を下回っていたのは、前日の降雨の影響と思われる。

＜ゴミの種類＞（※数値はごみの種類の傾向を示す）

・ビニール袋類	29	・プラ容器	5
・ペットボトル	5	・脚立	1
・アルミ缶破片	2	・くすり	1
・その他紙類	11	・ボール	1
・たばこの吸い殻	2	・空き缶	3
・カップめん容器	1	・木の枝	多
・自転車の車輪	1	・紙パック	3

・人為的に捨てられたものが殆どであった。

＜確認された生物＞

- ・カモ類やハトが確認された。



用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L 未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一つの形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常1~2mg/L 前後）
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L以下）
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L 未満、少し多い0.5mg/L以上）
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。